

(様式3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和5年 7月 9日

会 派 会派市民

参 加 者 桜井 忠

政務活動先 (目的地)	札幌市西区山の手1条12丁目 曹洞宗浄国寺				
開催団体等	北海道有志僧侶の会				
政務活動期間	令和5年7月9日(日)			1日間	
政務活動項目 (名称等)	藤江成光講演会				
政務活動参加者	桜井 忠				
					計 1名
全体参加者数	30名				
政務活動の目的・結果等の概要・所見	<p>開会にあたり「北海道有志僧侶の会」代表より挨拶があった。引き続き藤江成光氏よりの講演がある、内容は以下の通り。</p> <p>①月別死者数がものすごく増えている。それに従って超過死亡数も159千人(20ヶ月間)増えている。高齢化や新型コロナが原因でないかという人がいるが、それを差し引いても125千人増えている。(資料1)</p> <p>②その多くが75歳以上の人。特に80歳以上が大幅に増えている。(資料2)</p> <p>③昨年1月第1週から4月第4週までのワクチン接種者数と死者数が同じ曲線を描いており(私が一般質問時示したパネルと同じ)、高齢者の曲線は2週間のずれが明らか。(資料3、4)</p> <p>④ワクチンによる健康被害は1977年に制度が確立されてから2021年12月まで3,522件されているが、新型コロナは2年余りの内に3,163件認定されている。(資料5)しかし審査未了がまだ4,483件もある。</p> <p>死亡認定数も2021年まで151件であるが、新型コロナワクチンでは103件。(資料6)</p> <p>しかしこれは氷山の一角であり、大薬害事件である。</p> <p>⑤日本人は多くの国民が接種しているが、にもかかわらず、コロナ陽性者数が接種するほど増えている。(資料7)</p> <p>⑥国は未接種であれば自分がかからないだけでなく、周りの人にも移すと警告を発しており、政府の資料もそうになっていた。(資料8)</p>				

	<p>しかし、その資料は未接種者の中に接種回数不明の数字も含まれており、数字を正しく補正すると未接種者の方が2回接種者よりも罹患していないことが分かった。(資料 9, 10, 11)</p> <p>⑦ワクチン接種回数は他国では40%~80%なのに、日本は141.7%と突出して多い、しかもそれを報じたNHKではグラフを改ざんし、多く見えないように加工して報じた。(資料 12)</p> <p>⑧死亡日とその方の接種日を追跡調査してほしい。(資料 13)</p> <p>⑨例としてある自治体のグラフを示す。(資料 14)</p> <p>以上</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="475 855 746 940">資料名 (会派保管)</td> <td data-bbox="746 855 1412 940">講演説明資料 1~14</td> </tr> </table>	資料名 (会派保管)	講演説明資料 1~14
資料名 (会派保管)	講演説明資料 1~14		

会派内回覧								
-------	--	--	--	--	--	--	--	--

(様式3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和5年9月20日

会 派 会派市民

参加者 桜井 忠

政務活動先 (目的地)	千歳市清水町4丁目25 千歳栄光教会				
開催団体等	子ども達の未来を考える会				
政務活動期間	令和5年7月18日			1日間	
政務活動項目 (名称等)	坪内俊憲(星槎大学特任教授)氏の講演と桜庭和氏の歌				
政務活動参加者	桜井 忠				
					計1名
全体参加者数	30名				
政務活動の目的・結果等の概要・所見	○獣医師である坪内先生はアフリカなど発展途上国での活動が長かった方。物も食べるものも、医薬品も不足する中での体験から、独特な理論を持っている。 ○世界観では持てる国＝発展している国ではその利益を守るために、世界秩序を崩さないように考えている。そのような中で、グレートリセット理論を自らの体験の中から話された。 ○グレートリセット理論の中で新型コロナを解説して話され、あくまでも新型コロナは自然発生ではなく中国武漢で発生した人工的なウイルスであり、対応するワクチンは以前より出来ていたものと推測される。 ○そのコロナ体制に政府もマスコミも、ましてや国民も乗せられて(乗って)いる。 ○そういう中でのマスクなので、まったく必要のないもの。諸外国では早くから外しているが日本より新型コロナが流行しているという話は聞かない。他				
	資料名(会派保管)				

会派内回覧								
-------	---	---	--	--	--	--	--	--

(様式3)



政務活動 (参加・実施) 報告書

令和 5 年 3 月 26 日

会 派 _____ 会派市民 _____

参 加 者 _____ 桜井 忠 _____

政務活動先 (目的地)	札幌市中央区				
開催団体等	薬害オンブズパースン・タイアップ札幌				
政務活動期間	令和 5 年 8 月 26 日			1 日間	
政務活動項目 (名称等)	隈本邦彦氏講演会				
政務活動参加者	桜井忠				
					計 名
全体参加者数	40 人				
政務活動の目的・結果等の概要・所見	別紙のとおり				
	資料名 (会派保管)	HPV ワクチンのほんとうのこと、知ってくださいHPV ワクチン副反応、これまでの取り組み、他。			

会派内回覧								
-------	---	---	--	--	--	--	--	--

2023.8 隈本邦彦氏講演内容

1. HPV ワクチンの現状=2022 年 4 月、約 9 年止まっていた積極勧奨が再開された。理由は「安全性について特段の懸念が認められないことが確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められました」
2. その結果今何が起きているのか=1 回でも接種しているもの 226 千人 キャッチアップ接種 305 千人。副反応に苦しんで協力医療機関を受診する人が接種勧奨再開以前は年に 10 人前後だったが、昨年 1 年間で 137 人に 10 倍以上増えた。
3. 桃井真理子部会長は中外製薬の取締役を選任され、その翌日に副反応部会長を退任した。内定はそれよりも前だったと思われ、その間の発言は問題視するべきだ。
4. 薬害と副作用の違い=副作用は薬が起こすが、薬害は人が起こす。薬害とは、薬の安全性・有効性に関する情報が何者かによって隠されたり曲げられたりしたことが原因で、許容し難い健康被害が広がること。
5. 2013 年の定期接種化まで活発に活動していた医師たち。「子宮頸がん制圧をめざす専門家会議」の役員にメーカー 2 社から明らかになっただけで 3 年間に 1 億円余りの寄付金が贈られ。税金でやった新潟大学の研究で有

効性データを曲げて発表していた。薬害オンブズパーソンが「訂正せよ」と要望し回答を1ヶ月以内に求めたら、数日後こっそりと微修正し回答は未だにされていない。しかし、現行のワクチン接種では前がん病変さえ抑えておらず、ましてやがんを予防する証拠などない。

6. 安全性のデータを曲げたことは8月の東京地裁法廷で疫学の権威である椿広計統計数理研究所長の証言。①鈴木らによる「名古屋スタディ」で安全性が確認されたというのは間違い。②あの解析方法で「因果関係がないことが示唆された」と結論するのは「統計の誤用」。③むしろ調査データを正しく解析すると副反応のシグナルが見つかる。④製薬企業側が証拠として出している「安全性疫学データ」は検出力に限界があり安全性の証明にはならない。⑤その限界は著者自身も認めている。
7. 名古屋市調査は実態調査。①接種後にアンケートをする観察横断研究。②因果関係を判定することはできないデザイン。③副反応のシグナルを得ることしかできない。④自由記載欄に被害の実態が滲み出ている。
8. 厚労省、製薬企業、政治家、学会、推進派医師グループ、そしてメディアが揃いも揃ってがんの恐怖、ワクチンの効果を拡大して強調し、副作用については見て見ぬ振りをしている。このやり方はメガファーマの常套手段であり、世界中で展開されてきたやり方。

9. 推進派の論理。①欧米では子宮頸がん罹患も死者も減っている。②日本では子宮頸がん罹患も死者も増加傾向。③それは長い間 HPV ワクチンが止まっていたから。しかし実際には欧米で減っているのも日本で増えているのも HPV ワクチンとは無関係。別の理由と考えるべき。
10. 健診受診率が上昇するとがん罹患率は上昇する。それはがんの早期発見につながり、子宮頸がんは早期に見つかりと 9 割以上が治り、44 歳以下で見つかりと治る率は 20 ポイントも高くなる。だから子宮頸がん検診こそ大事。しかし、厚労省のリーフレットでは健診の重要性の記述はわずか。
11. HPV ワクチンの副反応のリスクは他のワクチンの平均に対し疑いで 8.3 倍、重篤なものは 7.4 倍。しかしこれも氷山の一角でしかない。
12. シルガード 9 はさらに副反応が多い。
13. 副反応部会の委員の多くが製薬会社から研究費や講師謝礼という形で大金が渡っている。